

I. 業績概要

平成23年度中間決算のポイント

収益

- ◆ 中間純利益 102億円 (前年同期比 Δ 16億円)
- ◆ 信用コスト 4億円 (前年同期比 Δ 20億円)

預貸金

- ◆ 預金・貸出金ともに高水準の増加を継続
- ◆ 預金+NCD残高
6兆5,742億円(前年同期比+1,595億円)
- ◆ 貸出金残高
3兆9,808億円(前年同期比+1,535億円)

配当

- ◆ 中間期は普通配当5円、記念配当1円の合計6円の中間配当を実施
- ◆ 年間配当金は期末配当5円(予定)とあわせて1株につき11円

2. 平成23年度中間決算概要〈単体〉

信用コストが大幅に改善、中間純利益は102億円を確保

(単位:億円)

	22年度中間	23年度中間	前年同期比
業務粗利益	506	457	△48
資金利益	433	401	△31
役務取引等利益	34	33	△1
その他業務利益	39	23	△16
うち国債等債券損益	35	20	△14
経費	278	286	7
一般貸倒引当金繰入額 (A)	△1	△1	0
業務純益	229	172	△57
不良債権処理額 (B)	26	5	△21
株式等関係損益	△1	△9	△7
経常利益	204	166	△38
特別損益	△3	△1	1
中間純利益	119	102	△16
信用コスト (A) + (B)	25	4	△20

業務粗利益

預金・貸出金の残高は順調に拡大。しかし、有価証券利息配当金を中心とする資金利益や、国債等債券損益が減少したことを主因に、前年同期比48億円減少し、457億円となった。

信用コスト

不良債権処理額が大幅に減少。信用コストは前年同期比20億円減少し、4億円となった。

中間純利益

中間純利益は102億円を確保。

3. 平成23年度決算見通し〈単体〉

引き続き貸出金の残高の拡大を進める一方で、有価証券利息配当金や
 国債等債券損益が減少するものの、**当期純利益については当初業績予想
 どおり、153億円を見込む。**

	22年度	23年度 (予想)	(単位:億円)	
			前年度比	23年度 当初業績予想 (5月13日公表)
業務粗利益	948	868	△80	
資金利益	818	772	△46	
役務取引等利益	62	67	5	
その他業務利益	67	29	△38	
うち国債等債券損益	52	20	△32	
経費	558	570	12	
一般貸倒引当金繰入額 (A)	△2	5	7	
業務純益	392	293	△99	324
不良債権処理額 (B)	54	30	△24	
株式等関係損益	1	△9	△10	
経常利益	331	251	△80	245
特別損益	△6	△4	2	
当期純利益	182	153	△29	153
信用コスト (A) + (B)	51	35	△16	60